

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

<p>《試料・情報の利用目的及び利用方法》</p>	<p>●研究の名称 自家棘突起をスペーサーとして用いた頸椎椎弓形成術後の外側溝とスペーサー周囲の骨癒合評価</p> <p>●研究の対象 2020年4月から当院で自家棘突起をスペーサーとして用いた頸椎椎弓形成術を受け、術後6か月での腰椎単純CT（computed tomography）検査を評価できる約111例</p> <p>●研究の目的 頸椎症性脊髄症に対する手術加療の方法として、日本で開発された頸椎椎弓形成術は広く普及してきている。我々は自家棘突起をスペーサーとして用いた頸椎椎弓形成術を実施しており、術後の画像検査所見（CT検査など）の詳細な部分と症状の関係がどのように改善したかなどの詳細についてはまだよくわかっていないこともあり、改善点を検討することです。</p> <p>●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2025年3月まで</p> <p>●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。</p>
<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 年齢、性別、BMI、併存疾患、運動機能検査結果、画像評価結果等</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 名古屋共立病院 整形外科 渡邊悠</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有す</p>	<p>名古屋共立病院 整形外科 渡邊悠</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>る者の氏名又は名称》</p>	
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたのご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。</p> <p>また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。</p>
<p>《問い合わせ先》</p>	<p>〒454-0933          名古屋市中川区法華一丁目172番          医療法人偕行会 名古屋共立病院</p> <p>部署名： 整形外科</p> <p>担当者： 渡邊悠</p> <p>TEL： 052-362-5151（病院 問い合わせ口）</p>

2024年11月19日作成